

# 「アメタン」誕生

左京のだん王児童館



設置された雨水タンク「アメタン」を囲む児童たち（左京区・だん王児童館）

## 雨水利用で自然を身近に NPOと児童が協力

屋根に降った雨を花の水やりなどに再利用する「雨水タンク」が二十七日、左京区のだん王児童館に設置された。児童が「アメタン」と名づけ、樋とタンクの接続部分も

ペットボトルを使って仕上げた。同児童館は「自然の中の学びを」と、法然院の森のセンターを利用してきており、昨年三月、同センターにNPO（民間非営利団体）「きょうとグリーンファンド」（中京区）によって、太陽光発電が設置されたときも、点灯式に参加していた。同児童館が「身近に自然とかがわれること

を」と、雨水利用を考えていたところ、グリーンファンドからも雨水タンクの提案があり、「京都・雨水利用をすすめる会」（山科区）も協力し、取り付けが実現した。設置には児童館を利用

する児童約十人が集まった。京エコロジーセンター（伏見区）の環境専門員、豊田陽介さんから水資源について説明を受けた後、児童は樋とタンクの接続部分をペットボトルとホースで作り上げた。

児童は「本当に雨水がたまるとかなあ」と興味津々。参加者は「これで雨降りも嫌にならないかも」と期待していた。